

複雑化するシステムの
安全性を確保するために！

▶▶▶ ~システム思考で考えるこれからの安全~



第3回 STAMPワークショップ



2018
12/3 月 - 4 火

参加費 無 料
定 員 300名

OVERVIEW

近年のIoTの進展に伴い大規模・複雑化するシステムでは、複数の異なるシステムが相互接続されるようになり、システム障害も複数の要素間の相互作用に起因するものがしばしば発生しています。そのような中、システムの相互作用に着目した新しい安全分析方法論STAMPが産業界で注目されています。

STAMPワークショップは、様々な分野の方が情報共有・発信を行う場です。

今回のワークショップでは、STAMPに関するチュートリアルと、安全分析を容易化するツール「STAMP Workbench」のハンズオン講習を予定しています。さらに、国内企業のSTAMP適用事例などを紹介します。

参加登録

STAMPに興味がある方、STAMPや安全分析をよくご存知ない方、STAMPに関して意見交換したい方、どうぞ奮ってご応募ください。

<https://www.ipa.go.jp/ikc/events/20181203.html>

参加登録の詳細は 上記URLまたは
QRコードのページよりご覧いただけます



場所

NTTDATA 駒場研修センター
(〒153-0041 東京都目黒区駒場2-18-2)



- 井の頭線 駒場東大前駅より徒歩5分
- 東急田園都市線 池尻大橋より徒歩13分
- 渋谷駅よりタクシーで10分程度



プログラム概要

開催日	イベントホール (1F)		研修室(2F 207研修室)	
	時間	内容	時間	内容
12/3 (月) 9:30 開場 10:00 開始	午前	チュートリアル(入門)	* 1日目受付9:30~	
		チュートリアル(アドバンスト)		
	12:00-12:55	昼休憩		
	午後	開会挨拶、共催者代表挨拶		
		特別講演1(JAXA)	13:15-14:45(90分)	ツール・ハンズオン初級1
手法改善セッション		15:00-17:30(150分)	ツール・ハンズオン中級1	
18:00-20:00	有志による情報交換会を予定			
12/4 (火) 9:00開場 9:30 開始 17:30 閉会 予定	午前	ショートセッション	* 2日目受付9:00~	
		ツールセッション		
	12:00-13:00	昼休憩		
	午後	特別講演2(JR東日本)	12:40-15:10(150分)	ツール・ハンズオン中級2
		事例紹介セッション		
クロージング				

*ワークショップはメイン会場であるイベントホールと少人数用の研修室で併行開催します。

【チュートリアル (入門・アドバンスト)】

STAMPや安全分析をご存じない方 (入門)、およびSTAMPを更に有効に活用したいと考えておられる方 (アドバンスト) に向けて、チュートリアルをご用意しています。

【ツール・ハンズオン (初級・中級)】

初級では、STAMP分析の初心者を対象に、ツール (STAMP Workbench) の基本的な操作方法と効率的な分析方法を体験します。中級では、STAMPの基本的な手順を理解している方を対象に、効率的な安全分析の手順と分析のポイントをツールを用いた演習形式のハンズオンで体験します。

【特別講演・一般講演】

特別講演では、実際にSTAMPを導入している企業、組織より、活用事例を紹介していただきます。また、一般講演では、STAMP適用事例やツール活用事例など多彩なテーマで発表して頂きます。

主催 (お問い合わせ先)

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 社会基盤センター
第3回 STAMPワークショップ事務局

MAIL : ikc-stamp-ws@ipa.go.jp

共催

有人宇宙システム株式会社(JAMSS)、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ、株式会社チェンジビジョン、一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

後援

一般社団法人セーフティグローバル推進機構(IGSAP)、
特定非営利活動法人 安全工学会(JSSE)、
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所(NII)、
一般財団法人日本科学技術連盟(JUSE)、一般社団法人情報処理学会 (IPSJ)